

2023	年度						
算数	2	教科書	上	8	～	11	
		東書					
						3	
						4	～ 4

大単元(題材名)	1. グラフと ひょう		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	D データの活用		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 身の回りにある数量を分類整理して、簡単なグラフや表に表したり読んだりすることができる。
思・判・表	○ データを整理する観点に着目し、身の回りにある事象の特徴についてグラフや表から考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにある数量を分類整理して、グラフや表に表すよさを知り、グラフに表そうとしたり、表にまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 昼休みにしたことと人数を、簡単なグラフに表している。	D(1)ア(ア)
	○ 昼休みにしたことと人数を表したグラフを読んでいる。	D(1)ア(ア)
	○ 昼休みにしたことと人数を、簡単な表に表している。	D(1)ア(ア)
	○ 昼休みにしたことと人数を表した表を読んでいる。	D(1)ア(ア)
	○ クラスで飼いたい生き物と人数を、表したグラフを読んでいる。	D(1)ア(ア)
思・判・表	○ 事象をグラフや表に表し、その特徴をグラフや表を使って考え、説明している。	D(1)イ(ア)
	○ クラスで飼いたい生き物と人数を表したグラフから、何に注目して、読み取ったかを説明している。	D(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りにある数量を分類整理し、グラフに表したり表にまとめたりして、データの特徴を読み取っている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	わかりやすくせいりしよう

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
グラフと ひょう①	1	○ 昼休みにしたことと人数をグラフに表す。そのグラフから表に表す。 ・ 昼休みの過ごし方カードをもとに、したことと人数のグラフを完成させる。グラフの人数を表に表す。	(1)イ, エ
グラフと ひょう②	1	○ 昼休みにしたことと人数の、グラフと表を読み取る。 ・ いちばん人数が多いこと、ドッジボールとお絵かきの人数の違いなどを指摘する。 ・ みんながもっと仲良くなるためにできることを話し合う。 ・ グラフや表に表すとどんなことがわかりやすくなるかを考える。	(1)イ, エ
まとめ	1	○ 「つないでいこう算数の目」で、クラスで飼いたい生き物と人数のグラフから、何に注目して読み取っているかを考える。	

2023	年度	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
算数	2	東書	上	12 ~ 23	8	4 ~ 5

大単元(題材名)	2. たし算の ひっ算	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

**【到達目標】**

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆算形式による2位数の加法の計算のしかたがわかり、計算することができる。</li> <li>○ 具体的な場面で、加法の交換法則が成り立つことがわかる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2位数の加法の筆算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。</li> <li>○ 2位数の加法を使って、適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2位数の加法の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ くり上がりのない(2位数)+(2位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(ウ)
	○ くり上がりのない(2位数)+(1位数)、(1位数)+(2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(ウ)
	○ くり上がりのある(2位数)+(2位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(ウ)
	○ くり上がりのある(2位数)+(1位数)、(1位数)+(2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(ウ)
	○ 筆算、たされる数、たす数の用語とその意味を理解している。	A(2)ア(ア)(ウ)
	○ 加法では、交換法則が成り立つことを理解している。	A(2)ア(ア)(ウ)
思・判・表	○ (2位数)+(2位数)の計算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ (2位数)+(2位数)の筆算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ (2位数)+(1位数)や(1位数)+(2位数)の筆算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 2位数の加法を使って、適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)+(2位数)や(1位数)+(2位数)の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	
	○ 加法では、交換法則が成り立つことを、たされる数とたす数を入れかえて計算して確かめている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
1年	たしざん

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.たし算(1)①	1	○ くり上がりのない(2位数)+(2位数)の計算方法を考え、位ごとに計算することを知る。 ・ $35+12$ の計算で、10のまとまりどうしを加えた $30+10=40$ と、一の位どうしを加えた $5+2=7$ をあわせて47と計算できる。	(1)ア, イ, エ
1.たし算(1)②	1	○ くり上がりのない(2位数)+(2位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。 ・ $35+12$ の計算で、位をそろえて書き、一の位の計算は $5+2=7$ 。十の位の計算は $3+1=4$ で47と計算できる。	(1)ア, ウ
1.たし算(1)③	1	○ くり上がりのない(2位数)+(1位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。	(1)ア, ウ, エ
2.たし算(2)①	1	○ くり上がりのある(2位数)+(2位数)の計算方法を考え、位ごとに計算することを知る。 ・ $35+29$ の計算で、 $35+12$ の筆算と違うところを確認し、答えの求め方を考え、位ごとに計算する。	(1)イ, エ
2.たし算(2)②	1	○ くり上がりのある(2位数)+(2位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。 ・ $35+29$ の計算で、一の位どうしを加えて $5+9=14$ で十の位に1くり上げ、十の位は1と3で4。 $4+2=6$ で64と計算できる。	(1)ア, ウ
2.たし算(2)③	1	○ くり上がりのある(2位数)+(2位数), (2位数)+(1位数), (1位数)+(2位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。	(1)ウ
3.たし算の きまり	1	○ たされる数, たす数の用語とその意味を知り、加法では、交換法則が成り立つことを知る。	(1)イ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、2位数の加法の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、数のしくみに注目し筆算のしかたを考えたり、加法のきまりについて考えたりする。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上	24	～	35	
		東書				8	
						5	～
							5

大単元(題材名)	3. ひき算の ひっ算	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆算形式による2位数の減法の計算のしかたがわかり、計算することができる。</li> <li>○ 具体的な場面で、ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になることがわかる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2位数の減法の筆算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。</li> <li>○ 2位数の減法を使って、適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2位数の減法の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ くり下がりのない(2位数)－(2位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ くり下がりのない(2位数)－(1位数)や(2位数)－(何十)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ くり下がりのある(2位数)－(2位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ (何十)－(2位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ くり下がりのある答えが1位数になる筆算や(何十)－(1位数)の筆算のしかたがわかり、筆算で計算している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ ひかれる数、ひく数の用語とその意味を理解している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になることを知り、答えのたしかめをしている。	A(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ (2位数)－(何十)の計算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ (2位数)－(1・2位数)の筆算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ (何十)－(1・2位数)の筆算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 2位数の減法を使って、適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)－(1・2位数)や(何十)－(1・2位数)の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	
	○ 減法では、答えにひく数をたすとひかれる数になることを、計算して確かめている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 ひきざん

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.ひき算(1)①	1	○ くり下がりのない(2位数)－(2位数)の計算方法を考え、位ごとに計算することを知る。 ・ 47－15の計算で、10のまとまりどうしをひいた40－10＝30、一の位どうしをひいた7－5＝2で32と計算できる。	(1)ア, イ, エ
1.ひき算(1)②	1	○ くり下がりのない(2位数)－(2位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。 ・ 47－15の計算で、位をそろえて書き、一の位の計算は7－5＝2。十の位の計算は4－1＝3で32と計算できる。	(1)ア, ウ
1.ひき算(1)③	1	○ くり下がりのない答えが何十や1位数になる計算や(2位数)－(1位数)、(2位数)－(何十)の筆算方法を考え、筆算で計算する。	(1)ウ
2.ひき算(2)①	1	○ くり下がりのある(2位数)－(2位数)の筆算方法を考える。 ・ 47－18の計算で、47－15の筆算と違うところを確認し、答えの求め方を考え、位ご	(1)イ
2.ひき算(2)②	1	○ くり下がりのある(2位数)－(2位数)の筆算方法を考え、筆算で計算する。 ・ 47－18の計算で、位をそろえて書き、一の位の計算は、十の位から1くりさげて17－8＝9。十の位の計算は3－1＝2で29と計算できる。	(1)ア, ウ
2.ひき算(2)③	1	○ くり下がりのある(何十)－(2位数)の筆算や答えが1位数になる筆算、(2位数)－(1位数)の筆算方法を考え、計算する。	(1)ウ
3.ひき算の きまり	1	○ ひかれる数、ひく数の用語とその意味を知り、ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になることを知る。	(1)イ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、2位数の減法の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、数のしくみに注目し筆算のしかたを考えたり、減法のきまりを生かし計算の答えを確かめたりする。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上	39	～	51	
		東書				9	
						5	～ 6

大単元(題材名)	4. 長さのたんい		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	C 測定		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長さの単位cmやmmを知り、1cm = 10mmの関係がわかる。</li> <li>○ ものさしの目盛りの読み方や使い方がわかる。</li> <li>○ ものさしを使って長さを測定したり、必要な長さの直線をひいたりできる。</li> <li>○ 長さの加法と減法の計算ができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長さを予想してから測定し、長さの量感を身につけることができる。</li> <li>○ 長さの適切な単位を選択したり、単位の関係を説明したりすることができる。</li> <li>○ 加減計算を使って、長さの適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身の回りのものの長さをcm、mmの単位を使って測ることに興味をもち、予想をしながら測定しようとする。</li> <li>○ 身の回りのものの長さを、測定する大きさに合った単位で表そうとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長さの単位cmやmmを知り、1cm = 10mmの関係を理解している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ ものさしの目盛りの読み方を知り、ものさしを使っていろいろなものの長さを測定している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 1cm = 10mmの関係から、複名数を単名数になおしたり、単名数を複名数になおしたりしている。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 複名数を単名数になおして、長さの大小比較をしている。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ ものさしを使って、直線のひき方を理解し、与えられた長さの直線をひいている。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 長さを予想してから、いろいろなものの長さを測定している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 長さの加減計算をしている。	C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 長さを目的に応じた単位で表現でき、量感を身につけている。	C(1)イ(ア)
	○ 加減計算を使って、長さの適用問題を解いている。	C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのものの長さをcm、mmの単位を使って測ることに興味をもち、予想をしながら測定している。	
	○ 長さの単位であるcm、mmを使うよさを知り、進んで用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	どちらがながい

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.長さの たんい①	2	○ 任意単位での長さ比べを通して、普遍単位の必要性から長さの普遍単位であるcmを知る。 ・ 長さの測り方を考え、テープの目盛りを使って直線の長さを測る。また、身の回りから10cmに近いものを探す。	(1)ア, イ, エ
1.長さの たんい②	1	○ はがきの横の長さ縦の長さの測定を通して、短い長さの必要性からmmの単位を知り、1cm = 10mmを知る。	(1)ア, イ
1.長さの たんい③	1	○ ものさしを使って、いろいろなものの長さを測る。 ・ 消しゴムの長さ、鉛筆の直径、サイコロの幅、1円玉の直径、鉛筆キャップの長さ、のりの長さ、教科書の縦と横の長さを測る。	(1)ア, イ
1.長さの たんい④	1	○ 1cm = 10mmの関係から、単名数を複名数になおしたり、複名数を単名数になおしたりする。	(1)ウ
1.長さの たんい⑤	1	○ ものさしを使って、与えられた長さの直線をひく。 ・ ものさしを使った直線のひき方を写真と説明で知る。	(1)ウ
2.長さの 計算	1	○ 長さの計算は、同じ単位の数どうしを計算すればよいことを知り、長さの加法、減法の計算をする。	(1)イ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で、身の回りのものの長さを予想してから、30cmものさしを使って測る。 ・ 「ますりんつうしん」で、長い直線のひき方を知り、算数への興味・関心を高める。	(1)ア, イ
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で、長さの単位の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、ものの長さに注目し、単位を使って表すよさを振り返る。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上	52	～	67	
		東書					
						12	
							6

大単元(題材名)	5. 3けたの数	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3位数の数の数え方、表し方、読み方を知り、十進位取り記数法による数の表し方がわかる。</li> <li>○ 3位数の数の相対的な大きさがわかる。</li> <li>○ 5</li> <li>○ 3位数の数について、大小の比べ方を理解し、大小の関係を不等号を使って表すことができる。</li> <li>○ 1000という数の大きさや命数法がわかる。</li> <li>○ くり上がりのある(何十)+(何十)、くり下がりのある(百何十)-(何十)、(何百)±(何百)の計算のしかたを理解し、計算することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3位数の数を、数の構成をもとにいろいろな見方で表現することができる。</li> <li>○ くり上がりのある(何十)+(何十)、くり下がりのある(百何十)-(何十)、(何百)±(何百)の計算のしかたを考慮することができる。</li> <li>○ 何十や何百の加法や減法を使って、適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3位数の数をいろいろな見方で表現しようとする。</li> <li>○ くり上がりのある(何十)+(何十)、くり下がりのある(百何十)-(何十)の計算のしかたを考え、友だちと話し合って自分の考えをまとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 大きな数を数えるときは、10や100のまとまりをつくと数えやすくなることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 位取り板に対応させて、百の位の用語を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 3位数の読み方や表し方、数のしくみを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 3位数で空位がある数の表し方や読み方、数のしくみを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 3位数の相対的な大きさを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 数直線上の3位数を読み取ったり、3位数を数直線上に表したりしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 3位数の大小比較のしかたを理解し、大小の関係を不等号を使って表している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 100を10個集めた数を1000と書いて、千と読むことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
思・判・表	○ (何十)+(何十)、(百何十)-(何十)、(何百)±(何百)の計算のしかたを理解し、計算している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)ア(イ)
	○ 3位数の数を、数の構成をもとにいろいろな見方で表現している。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
	○ (何十)+(何十)、(百何十)-(何十)、(何百)±(何百)の計算のしかたを考え、説明している。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 何十や何百の加法や減法を使って、適用問題を解いている。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
	○ 何百何十の数を、1目盛りが10で表された数直線を用いて、いろいろな見方をしている。	
	○ くり上がりのある(何十)+(何十)、くり下がりのある(百何十)-(何十)の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 おおきいかず

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.数の あらわれし方としくみ①	1	○ 百の位の用語を知り、3位数の数のしくみを理解する。 ・ クリップの数を数える活動を通して、大きな数を数えるときは10や100のまとまりをつくとよいことを知る。	(1)ア, イ
1.数の あらわれし方としくみ②	1	○ 何百何, 何百何十, 何百のように3位数の数で空位がある数の表し方や読み方, 数のしくみを理解する。	(1)ア, ウ
1.数の あらわれし方としくみ③	1	○ 3位数の数を位ごとに整理し, 数字で表したり読んだりする。 ・ 位ごとに数字を書き, 3位数の数の表し方をまとめる。	(1)ア, ウ
1.数の あらわれし方としくみ④	1	○ 3位数の数の構成をもとに, 合成・分解を考える。	(1)ウ
1.数の あらわれし方としくみ⑤	1	○ 大きな数を10のいくつかで表す。 ・ 10を14こ集めた数は140。230は10を23こ集めた数。	(1)ウ
1.数の あらわれし方としくみ⑥	1	○ 「数の線」を読む。	(1)ウ
1.数の あらわれし方としくみ⑦	1	○ 100を10こ集めた数を1000と書いて, 千と読むことを知り, 1000について調べる。	(1)ウ
1.数の あらわれし方としくみ⑧	1	○ 3位数の数をいろいろな見方で表現し, 説明する。 ・ 780を700+80や800-20, 10の78こなどの見方をする。	(1)ウ, エ
2.何十, 何百の 計算	1	○ (何十)+(何十)とその逆の減法や, (何百)±(何百)の計算のしかたを理解し, 計算している。 ・ 何十や何百の計算を, 10や100のたばで考える。	(1)ウ, エ
3.数の 大小①	1	○ 3位数の数の大小比較をして不等号を使って表す。 ・ けた数の同じ数の大きさを比べるときは, 上の位から順に比べることを知る。	(1)イ
3.数の 大小②	1	○ 数や式の大小を, 不等号や等号を使って式に表す。 ・ 150は80+50より大きいことを $150 > 80 + 50$ と表すことを知る。	(1)イ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で, 100より大きい数の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で, 数のしくみに注目し数の表し方を考えたり, 10のたばに注目し計算のしかたを考えたりする。	

2023	年度	教科書	上	教科書ページ	68	～	77	配当時数	8	配当月	6	～	7
算数	2	東書	上	68	～	77		8		6	～	7	

大単元(題材名)	6. 水のかさのたんい		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	C	測定	
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かさの単位dL, Lを知り, <math>1L = 10dL</math>の関係がわかる。</li> <li>○ 簡単な場合について, かさの加法と減法の計算をすることができる。</li> <li>○ かさの単位mLを知り, <math>1L = 1000mL</math>の関係がわかる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かさを予想してから測定し, かさの量感を身につけることができる。</li> <li>○ かさの適切な単位を選択したり, 単位の関係を説明したりすることができる。</li> <li>○ 加減計算を使って, かさの適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身の回りのもののかさをL, dL, mLの単位を使って量ることに興味をもち, 予想をしながら測定しようとする。</li> <li>○ 身の回りのもののかさを, 測定する大きさに合った単位で表そうとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ かさの普遍単位であるdLを知り, ものかさをdL単位で表している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 大きなかさの単位であるLを知り, $1L = 10dL$ の関係を理解している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 1dLは, 1Lを10等分したうちの1つ分であることを理解している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ やかんやバケツのかさをL, dL単位で表している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ かさの加減計算のしかたを理解し, 計算している。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ かさを予想してから, いろいろなもののかさを量っている。	C(1)ア(ア)(イ)
	○ 小さいかさの単位mLを知り, $1L = 1000mL$ の関係を理解している。	C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 目的に応じた単位で表現でき, 量感を身につけている。	C(1)イ(ア)
	○ 加減計算を使って, かさの適用問題を解いている。	C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 身の回りのもののかさをL, dL, mLの単位を使って量ることに興味をもち, 予想をしながら測定している。	
	○ かさの単位であるL, dL, mLを使うよさを知り, 進んで用いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	どちらがおおい

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
水のかさのたんい①	1	○ 水のかさを, 任意単位を用いて比べる。 ・ 水筒のかさを同じ大きさのコップを使って量る。	(1)ア, イ, エ
水のかさのたんい②	1	○ かさの普遍単位であるdLを知り, ものかさをdL単位で表す。 ・ かさの表し方を, 長さの表し方と結びつけて調べる。	(1)ア, ウ
水のかさのたんい③	1	○ 大きなかさの単位であるLを知り, $1L = 10dL$ の関係を理解する。	(1)ア, イ
水のかさのたんい④	1	○ L, dLを使って, ものかさを表す。	(1)ア, イ
水のかさのたんい⑤	1	○ 小さいかさの単位mLを知り, $1L = 1000mL$ の関係を理解する。	(1)ア, イ
水のかさのたんい⑥	1	○ かさの加減計算をする。	(1)イ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で, 身の回りから, かさの単位が使われているものを探す。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で, かさの単位の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で, かさの表し方と長さの表し方の共通点をまとめる。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上	79	～	83	
		配当時数		2		配当月	7 ～ 7

大単元(題材名)	7. 時ごとと 時間	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	C 測定	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時刻と時間の意味の違いを理解し、正しく用いることができる。</li> <li>○ 時間の単位の関係、1時間 = 60分、1日 = 24時間がわかる。</li> <li>○ 午前、午後用語とその意味を理解し、それらを用いて時刻を表すことができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡単な場合について、時刻や時間の求め方を時計や図を用いて考えることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業が始まる時刻や休み時間など、日常生活を時刻や時間を使って表そうとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 時刻と時間の意味の違いを理解し、正しく用いている。	C(2)ア(ア)
	○ 時間の単位の関係、1時間 = 60分を理解している。	C(2)ア(ア)
	○ 午前、午後用語とその意味を知り、午前、午後を使って時刻を読んでいる。	C(2)ア(ア)
	○ 時間の単位の関係、1日 = 24時間を理解している。	C(2)ア(ア)
	○ 時計を見て、正時から正時までの時間を求めている。	C(2)ア(ア)
思・判・表	○ 簡単な場合について、時刻や時間の求め方を時計や図を用いて考え、説明している。	C(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ りえさんの1日の様子など、日常生活を時刻や時間を使って表している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	なんじなんじはん
1年	なんじなんぶん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
時ごとと 時間①	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時刻と時間のちがいを知り、時計の時刻を読んだり、1時間以内の時間を求めたりする。時計の長い針がひと回りする時間が1時間であることを知り、1時間 = 60分の関係</li> <li>・ りえさんたちの自然公園での様子からバスに乗った時刻(9時15分)、バスを降りた時刻(9時25分)や、バスに乗っていた時間(10分)を求める。</li> <li>・ 1時間 = 60分であることを使い、時刻や時間を求める。</li> </ul>	(1)ア, イ
時ごとと 時間②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 午前、午後用語とその意味を知り、午前、午後を使って時刻を表す。また、1日 = 24時間を知る。時計や図を用いて、時刻や時間を求める。</li> <li>・ りえさんの1日の生活を表した時計や図から、時刻や時間を求める。</li> </ul>	(1)ア, イ

2023	年度	教科書	上	教科書ページ	85	～	89	配当時数	5	配当月	9	～	9
算数	2	東書	上										

大単元(題材名)	8. 計算のくふう		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 加法の結合法則が成り立つことや( )の意味を知り、3口の計算を工夫して手際よく計算することができる。
思・判・表	○ 加法では、結合法則や交換法則が成り立つ理由を考え、説明することができる。 ○ ( )を使って表された式の考え方を読み取り、説明することができる。 ○ 3つの数量が関係する適用問題を、計算を工夫して解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 結合法則や交換法則を利用し、計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 加法では、結合法則や交換法則が成り立つことを知り、3口の計算を工夫して手際よく計算している。	A(2)ア(ウ)
	○ ( )の意味を知り、( )を使った式に表し、計算することができる。	A(2)ア(ウ)
思・判・表	○ 加法では、結合法則や交換法則が成り立つことを、具体的な場面を使って考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ ( )を使って表された式の考え方を読み取っている。	A(2)イ(ア)
	○ 3つの数量が関係する適用問題を、計算を工夫して解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 加法では、結合法則が成り立つことを、計算の順序を入れかえて計算して確かめている。	
	○ 結合法則や交換法則を利用し、工夫して計算している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 3つのかずのけいさん

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.たし算の きまり①	1	○ 加法では、結合法則や交換法則が成り立つことを知り、3口の計算を工夫して手際よく計算する。 ・ $7+12+8=(7+12)+8=7+(12+8)=27$ と成り立つことを理解し、結合法則を利用して手際よく計算する。	(1)イ, エ
1.たし算の きまり②	1	○ ( )を使った式から、どのように考えたかを読み取る。 ・ $(15+40)+30=85$ , $15+(40+30)=85$ の考え方について読み取り、説明する。	(1)イ, エ
2.たし算と ひき算①	1	○ 加法を、加数分解や被加数分解で暗算する。 ・ $26+7$ の計算の際、26を20と6に分けたり、7を4と3に分けたりして計算する。	(1)ウ, エ
2.たし算と ひき算②	1	○ 減法を工夫して暗算する。 ・ $42-7$ の計算の際、42を30と12に分けたり、7を2と5に分けたりして計算する。	(1)ウ, エ
まとめ	1	○ 「つないでいこう算数の目」で、加法のきまりを生かして計算のしかたを工夫したり、考え方に注目して式に表したりする。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上	90	～	103	配当時数
		東書	上	90	～	103	10
							配当月
							9
							～
							9

大単元(題材名)	9. たし算とひき算のひっ算	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ (2位数)+(1・2位数)=3位数の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ (百何十何)-(2位数)=2位数の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ 波及的にくり下がる(百何)-(1・2位数)の計算のしかたを知り、筆算で計算することができる。
	○ 百の位にくり上がらない(3位数)+(1・2位数)や百の位からくり下がる(3位数)-(1・2位数)を筆算で計算することができる。
思・判・表	○ (2位数)+(1・2位数)=3位数の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ (百何十何)-(2位数)=2位数の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ 波及的にくり下がる(百何)-(1・2位数)の計算のしかたを、数のしくみをもとに考え、説明することができる。
	○ 2・3位数の加法や減法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)+(1・2位数)=3位数の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。
	○ (百何十何)-(2位数)=2位数の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ (2位数)+(2位数)で、百の位にくり上がる計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (2位数)+(2位数)で、十の位と百の位にくり上がる計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (2位数)+(2位数)で、百の位に波及的にくり上がる計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 百の位からくり下がる(百何十何)-(2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ くり下がりが2回ある(百何十何)-(2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 波及的にくり下がる(百何)-(1・2位数)や(百)-(2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 百の位にくり上がらない(3位数)+(1・2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 百の位からくり下がる(3位数)-(1・2位数)の計算を筆算でしている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ (2位数)+(1・2位数)=3位数の計算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ (百何十何)-(2位数)=2位数の計算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 波及的にくり下がる(百何)-(1・2位数)の計算のしかたを考え、説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 2・3位数の加法や減法を使って、適用問題を解いている。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)+(1・2位数)=3位数の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	
	○ (百何十何)-(2位数)=2位数の計算のしかたを考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	たしざん / ひきざん
2年	たし算のひっ算 / ひき算のひっ算

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.たし算の ひっ算①	1	○ (2位数)+(2位数)で、百の位にくり上がる筆算のしかたを考え、筆算で計算する。	(1)ア, イ
1.たし算の ひっ算②	1	○ (2位数)+(2位数)で、十の位と百の位にくり上がる筆算や百の位に波及的にくり上がる筆算のしかたを考え、筆算で計算する。 ・ $76+58$ の計算。一の位は $6+8=14$ で十の位に1くり上げ、十の位は1と7で8。 $8+5=13$ で百の位に1くり上がり答えは134。	(1)ウ
2.れんしゅう	1	○ 練習に取り組み、学習内容を理解しているかを確認する。	
3.ひき算の ひっ算①	1	○ 百の位からくり下がる(百何十何)-(2位数)の筆算のしかたを考え、筆算で計算する。 ・ $129-53$ の計算。一の位は $9-3=6$ 。十の位はひけないので百の位から1くり下げ、 $12-5=7$ で答えは76。	(1)ア, イ
3.ひき算の ひっ算②	1	○ くり下がりが2回ある(百何十何)-(2位数)の筆算のしかたを考え、筆算で計算する。	(1)ウ
3.ひき算の ひっ算③	1	○ 波及的にくり下がる(百何)-(2位数)の筆算のしかたを考え、筆算で計算する。 ・ $102-65$ の計算。一の位はひけないので百の位から1くり下げ、十の位から1くり下げる。一の位は $12-5=7$ 。十の位は $9-6=3$ で答えは37。	(1)ア, ウ
3.ひき算の ひっ算④	1	○ 波及的にくり下がる(百何)-(1・2位数)や(百)-(1・2位数)の筆算のしかたを考え、筆算で計算する。	(1)ウ
4.大きい 数の ひっ算①	1	○ 百の位にくり上がらない(3位数)+(2位数)や百の位からくり下がり(3位数)-(2位数)を筆算で計算する。	(1)ウ
4.大きい 数の ひっ算②	1	○ 百の位にくり上がらない(3位数)+(1・2位数)や百の位からくり下がり(3位数)-(1・2位数)を筆算で計算する。	(1)ウ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、加法と減法の筆算の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、数のしくみに注目し筆算のしかたを考える。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上下 教科書ページ	104	～	116	配当時数
		東書	上	104	～	116	10
							配当月
							9
							～
							10

大単元(題材名)	10. 長方形と正方形	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	B 図形	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三角形, 四角形の用語とその定義がわかり, 弁別することができる。</li> <li>○ 図形の辺や頂点の用語とその意味がわかり, 三角形や四角形の構成要素を調べることができる。</li> <li>○ 直角の用語とその意味がわかる。</li> <li>○ 長方形や正方形の用語と定義や性質がわかり, 弁別したりかいたりすることができる。</li> <li>○ 直角三角形の用語とその定義がわかり, 弁別したりかいたりすることができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 辺の長さや直角に着目して, 長方形, 正方形, 直角三角形の意味や性質を考察することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同な長方形や正方形, 直角三角形を敷き詰めた模様づくりを通して, 幾何学的な模様に関心をもち図形感覚を豊かにしようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 三角形と四角形の用語とそれらの定義を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 辺と頂点の用語とそれらの意味を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 点と点をむすんで, 三角形と四角形をかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 直角の用語とその意味を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 長方形の用語と定義, 性質を理解し, 長方形を弁別している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 正方形の定義を理解し, 正方形を弁別している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 直角三角形の用語と定義を理解し, 直角三角形を弁別している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 与えられた大きさの長方形を方眼にかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 与えられた大きさの正方形を方眼にかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 与えられた大きさの直角三角形を方眼にかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 三角形や四角形を弁別し, その理由を説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 三角形や四角形の紙を1本の直線で切り, どんな形ができるか調べている。	B(1)イ(ア)
	○ 正方形を弁別し, その理由を説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 直角三角形を弁別し, その理由を説明している。	B(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 合同な長方形や正方形, 直角三角形を敷き詰めた模様づくりを通して, 幾何学的な模様に関心をもち図形感覚を豊かにしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 なたづくり

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.三角形と 四角形①	2	○ 三角形と四角形の用語と定義、へんちよう点の用語と意味を知る。 ・ パズルを並べて、形づくりを楽しむ。パズルの形を2つの仲間(三角形と四角形)に分ける。	(1)ア, ウ, エ
1.三角形と 四角形②	1	○ 三角形や四角形を弁別する。また、点と点をむすんで三角形と四角形をかく。	(1)ウ
2.長方形と 正方形①	1	○ 直角の用語とその意味を知り、三角定規の直角部分がわかる。 ・ 身の回りから、四角形を探す活動をする。	(1)ア, イ
2.長方形と 正方形②	1	○ 長方形の用語と定義、性質を知り、長方形を弁別する。	(1)ア, イ
2.長方形と 正方形③	1	○ 正方形の用語と定義を知り、正方形を弁別する。	(1)ア, イ
2.長方形と 正方形④	1	○ 直角三角形の用語と定義を知る。 ・ 長方形、正方形の紙を切ってきた三角形について、直角の角に着目して調べる。直角の角がある形をかく。	(1)ア, イ
2.長方形と 正方形⑤	1	○ 方眼を使って、与えられた大きさの長方形、正方形、直角三角形を作図する。	(1)ウ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で、身の回りから、三角形や四角形を探したり、長方形や正方形、直角三角形を敷き詰めたりする活動をする。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で、三角形と四角形の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、角の形、辺の長さに注目し、四角形や三角形を調べ	

2023	年度						
算数	2	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 2	22	10	11	

大単元(題材名)	11. かけ算(1)	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乗法の意味を知り、「1つ分の数」と「いくつ分」にあたる量を捉えることができる。</li> <li>○ 倍の意味を知り、何倍かにあたる量を求めるときも、乗法を用いることがわかる。</li> <li>○ 5, 2, 3, 4の段の乗法九九を構成し、確実に唱えることができる。</li> <li>○ 乗法に関して成り立つ簡単な性質がわかる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5, 2, 3, 4の段の九九を使う具体的な問題を解くことができる。</li> <li>○ 1つ分の数, いくつ分, 全部の数を関連付けて考えることができる。</li> <li>○ 累加や乗数と積の関係など, 乗法について成り立つ性質を用いて乗法九九の構成を考えることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んで見つけようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ かけ算の用語や意味, 式を知り, 答えを累加で求めている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 与えられた乗法の式になるようにはしきを並べている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 身の回りから乗法の式になるものを探している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 1つ分, 2つ分, 3つ分のことを1倍, 2倍, 3倍ということを理解している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 九九の用語と意味を理解している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 5のいくつ分かの大きさを求めて, 5の段の九九を構成している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 5の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 2のいくつ分かの大きさを求めて, 2の段の九九を構成している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 2の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ かけられる数, かける数の用語と意味を理解している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 3のいくつ分かの大きさを求めて, 3の段の九九を構成している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 3の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 4のいくつ分かの大きさを求めて, 4の段の九九を構成している。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
○ 4の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱えている。	A(1)ア(イ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)	
思・判・表	○ 5, 2, 3, 4の段の九九を使う具体的な問題を解き, その解決方法を説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ 1つ分の数, いくつ分, 全部の数を関連付けて考え, 説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ 累加や乗数と積の関係など, 乗法について成り立つ性質を用いて九九の構成を考え, 説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んで見つけ, 友だちと話し合っている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. かけ算①	1	○ 遊園地の絵から、同じ数ずつのものを探して、1台に□人ずつ□台分で□人 のように表す。 ・ サイクリングの人数・・・1台に2人ずつ6台分で12人。ゴーカートの人数・・・1台に4人ずつ3台分で12人。飛行機の人数・・・1台に3人ずつ4台分で12人。	(1)ア, イ, エ
1. かけ算②	1	○ かけ算の用語や意味、式を知る。 ・ 乗法が用いられる場面を、「1つ分の数」の「いくつ分」は「ぜんぶの数」と捉えて、求められることを知る。	(1)イ
1. かけ算③	1	○ 遊園地の絵を見て、乗法の式に表せる場面を、式に表す。	(1)イ
1. かけ算④	1	○ 与えられた乗法の式になるようにはじきを並べる。	(1)ア, ウ, エ
1. かけ算⑤	1	○ 乗法の式に表し、答えを累加で求める。 ・ $6 \times 4$ の答えは、 $6 + 6 + 6 + 6$ の計算で求める。	(1)イ
1. かけ算⑥	1	○ 2つ分、3つ分、4つ分のことを2倍、3倍、4倍ということを知る。 ・ 3cmの2倍、3倍の長さを求める。	(1)イ
1. かけ算⑦	1	○ 「いかしてみよう」で、身の回りから乗法の式になるものを探し、乗法の理解を深める。	(1)ア, エ
2. 5の段、2の段の九九①	1	○ 5のいくつ分かの大きさを求めて、5の段の九九を構成する。	(1)イ
2. 5の段、2の段の九九②	1	○ 九九の用語と意味を理解する。5の段の九九の唱え方を知り、正しく唱える。また、答えは5ずつ増えていることを理解する。	(1)ウ
2. 5の段、2の段の九九③	1	○ 5の段の九九を活用して、問題を解く。	(1)イ
2. 5の段、2の段の九九④	1	○ 2のいくつ分かの大きさを求めて、2の段の九九を構成する。	(1)イ
2. 5の段、2の段の九九⑤	1	○ 2の段の九九の唱え方を知り、正しく唱える。また、答えは2ずつ増えていることを理解する。	(1)ウ
2. 5の段、2の段の九九⑥	1	○ 2の段の九九を活用して、問題を解く。	(1)イ
3. 3の段、4の段の九九①	1	○ 3のいくつ分かの大きさを求めて、3の段の九九を構成する。また、かけられる数、かける数の用語と意味を理解する。	(1)イ
3. 3の段、4の段の九九②	1	○ 3の段の九九の唱え方を知り、正しく唱える。また、答えは3ずつ増えていることを理解する。	(1)ウ
3. 3の段、4の段の九九③	1	○ 3の段の九九を活用して、問題を解く。	(1)イ
3. 3の段、4の段の九九④	1	○ 4のいくつ分かの大きさを求めて、4の段の九九を構成する。	(1)イ
3. 3の段、4の段の九九⑤	1	○ 4の段の九九の唱え方を知り、正しく唱える。また、答えは4ずつ増えていることを理解する。	(1)ウ
3. 3の段、4の段の九九⑥	1	○ 4の段の九九を活用して、問題を解く。	(1)イ
3. 3の段、4の段の九九⑦	1	○ 乗法の意味を見直す。 ・ $2 \times 5 = 10$ と $5 \times 2 = 10$ を比べ、「1つ分の数 $\times$ いくつ分=ぜんぶの数」の意味を確認する。	(1)イ
まとめ	2	○ 「たしかめよう」で、かけ算の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、場面に注目し、かけ算の式に表す。 ・ p28の「ますりんつうしん」を読み、分配法則について関心をもつ。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上下 教科書ページ	29	50	配当時数	17
		東書	下	29	50	配当月	11
							12

大単元(題材名)	12. かけ算(2)	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

**【到達目標】**

知・技	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の乗法九九を構成し, 確実に唱えることができる。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法では乗数が1増えると積は被乗数だけ増えることがわかる。
	○ かけ算九九の表を見て, 乗法の交換法則が成り立つことがわかる。
	○ かけ算九九の表を見て, 分配法則の素地の見方がわかる。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方がわかる。
	○ 何倍かにあたる数を乗法の式に表し求めることができる。
	○ 乗法に関して成り立つ簡単な性質がわかる。
思・判・表	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を使う具体的な問題を解くことができる。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を考え, 説明することができる。
	○ 全体の個数を, 乗法九九を活用して求めたり, 個数を求める図や式から思考過程を読んだりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から, 乗法で表せる場面を進んでみつけようとする。
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を, かけ算九九を活用して考え, 考えたことを友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。
	○ 全体の個数の求め方を, 乗法九九を活用して考え, 考えたことを友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】	対応する学習指導要領の項目	
知・技	○ 6のいくつかの大きさを求めて、6の段の九九を構成している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 6の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 7のいくつかの大きさを求めて、7の段の九九を構成している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 7の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 8のいくつかの大きさを求めて、8の段の九九を構成している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 8の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 9のいくつかの大きさを求めて、9の段の九九を構成している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 9の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 1のいくつかの大きさを求めて、1の段の九九を構成している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ 1の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ かけ算九九の表を見て、乗法では乗数が1増えると積は被乗数だけ増えることを理解している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ かけ算九九の表を見て、乗法の交換法則が成り立つことを理解している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ かけ算九九の表を見て、分配法則の素地の見方を理解している。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方がわかる。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
○ 何倍かにあたる数を乗法の式に表して求めている。	A(1)ア(エ), A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
思・判・表	○ 6, 7, 8, 9, 1の段の九九を使う具体的な問題を解き、その解決方法を説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ 1つ分の数、いくつか、全部の数を関連付けて考え、説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ 累加や乗数と積の関係など、乗法について成り立つ性質を用いて九九の構成を考え、説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ かけ算九九にないかけ算の答えの求め方を、かけ算九九を活用して考え、説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
	○ 全体の個数を部分に分けて、まとまりごとにたして求める方法を説明している。	A(1)イ(ア), A(3)イ(ア)(イ)
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中から、乗法で表せる場面を進んでみつけ、友だちと話し合っている。	
	○ 全体の個数を求めるのに、乗法を活用している。	
	○ ない部分があるものとして全体を求めて、ない部分をひいて求めている。	
	○ 友だちが考えた方法を聞いて、自分の考えを見直している。	

## 【関連する既習内容】

学年	内容
2年	かけ算(1)
年	

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 6のだん, 7のだんの九九①	1	○ 6のいくつかの大きさを求めて, 6の段の九九を構成する。 ・ かける数が1増えると答えは6ずつ増えることを知る。	(1)ウ
1. 6のだん, 7のだんの九九②	1	○ 6の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱える。 ・ 交換法則や分配法則が成り立つことを知る。	(1)ウ
1. 6のだん, 7のだんの九九③	1	○ 6の段の九九を活用して, 問題を解く。	(1)イ
1. 6のだん, 7のだんの九九④	1	○ 7のいくつかの大きさを求めて, 7の段の九九を構成する。	(1)ウ
1. 6のだん, 7のだんの九九⑤	1	○ 7の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱える。	(1)ウ
1. 6のだん, 7のだんの九九⑥	1	○ 7の段の九九を活用して, 問題を解く。	(1)イ
2. 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九①	1	○ 8のいくつかの大きさを求めて, 8の段の九九を構成する。	(1)ウ
2. 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九②	1	○ 8の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱える。また, 8の段の九九を活用して, 問題を解く。	(1)ウ
2. 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九③	1	○ 9のいくつかの大きさを求めて, 9の段の九九を構成する。	(1)ウ
2. 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九④	1	○ 9の段の九九の唱え方を知り, 正しく唱える。また, 9の段の九九を活用して, 問題を解く。	(1)ウ
2. 8のだん, 9のだん, 1のだんの九九⑤	1	○ 1のいくつかの大きさを求めて, 1の段の九九を構成する。 ○ 九九を答えの大きいほうから唱えたり, 途中から唱えたりなどして, 習熟・定着を図る。 ・ 「まずりんつうしん」で, なぜ「九九」というのかを知る。	(1)イ
3. 九九のひょうと きまり①	1	○ かけ算九九の表を見て, 乗法では乗数が1増えると積は被乗数だけ増えることや乗法の交換法則が成り立つことを知る。 ・ $4 \times 8 = 4 \times 7 + 4$ , $7 \times 8 = 8 \times 7$ と表せることを理解する。	(1)ウ, イ
3. 九九のひょうと きまり②	1	○ 乗法のきまりを使って, 九九よりも大きいかけ算の答えを求める。 ・ $5 \times 10$ , $3 \times 12$ , $12 \times 3$ 等	(1)ウ, イ
4. ばいと かけ算	1	○ 倍の大きさを乗法を使って求める。 ・ もとにするテープの3倍の長さを求めたり, 図を使って, もとにするテープの何倍かを求めたりする。	(1)ウ
5. もんだい	1	○ 全体の個数を, 乗法九九を活用して求めたり, 個数を求める図や式から思考過程を読んだりする。 ・ 箱の中にあるチョコレートの数の求め方を説明する。	(1)イ, イ
まとめ	2	○ 「たしかめよう」で, かけ算九九づくりの基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で, かけ算のきまりを生かし, 答えの求め方を考える。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 52	~ 65	1	~ 1	

大単元(題材名)	13. 4けたの 数	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 10000までの数の数え方, 表し方, 読み方を知り, 十進位取り記数法による数の表し方がわかる。
	○ 10000までの数の相対的な大きさがわかる。
	○ 10000までの数を数直線上に表したり, 数直線上に表された数を読んだりすることができる。
	○ 10000までの数について, 大小の比べ方を理解し, 大小の関係を不等号を使って表すことができる。
	○ 10000という数の大きさや命数法がわかる。
思・判・表	○ 4位数の数を, 数の構成をもとにいろいろな見方で表現することができる。
	○ (何百)+(何百), (何百)-(何百), (千)-(何百)の計算のしかたを説明することができる。
	○ 100を単位とした1000までの数の加法や減法を使って, 適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 数のまとまりに着目して, 4位数の数をいろいろな見方で表現しようとして, 何百の計算のしかたを考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 位取り板に対応させて, 千の位の用語を理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 4位数の読み方や表し方, 数のしくみを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 4位数で空位がある数の表し方や読み方, 数のしくみを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 4位数の相対的な大きさを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 数直線上の4位数を読み取ったり, 4位数を数直線上に表したりしている。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 4位数の大小比較のしかたを理解し, 大小の関係を不等号を使って表している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ 1000を10こ集めた数を10000と書いて, 一万と読むことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
	○ (何百)+(何百), (何百)-(何百), (千)-(何百)の計算のしかたを理解し, 計算している。	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ), A(2)ア(イ)
思・判・表	○ 4位数の数を, 数の構成をもとにいろいろな見方で表現している。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
	○ (何百)+(何百), (何百)-(何百), (千)-(何百)の計算のしかたを考え, 説明している。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
	○ 100を単位とした1000までの数の加法や減法を使って, 適用問題を解いている。	A(1)イ(ア), A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 何千何百の数を1目盛りが100で表された数直線を用いて, いろいろな見方をしている。	
	○ (何百)+(何百), (何百)-(何百), (千)-(何百)の計算のしかたをわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
2	年 3けたの数
	年

## 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
4けたの 数①	1	○ 4位数の数の表し方や読み方, 千のくらの用語を知る。 ・ 1円玉を数える活動を通して, 4位数の数のしくみを知る。 ・ 位表に数字を書き, 二千三百五十四を2354と表すことを知る。	(1)ア, イ
4けたの 数②	1	○ 空位がある4位数の数の表し方や読み方を知る。	(1)ア, ウ
4けたの 数③	1	○ 位ごとのまとまりから数のしくみを知る。 ・ 数カードを使って, 1000, 100, 10, 1のまとまりで数を表す。	(1)ア, ウ
4けたの 数④	1	○ 4位数の数の合成・分解を練習する。 ・ $3240 = 3000 + 200 + 40$ 等の問題を解く。	(1)ウ
4けたの 数⑤	1	○ 大きな数を100のいくつ分で表すとともに, (何百)+(何百), (何百)-(何百), (千)-(何百)の計算をする。 ・ 100を18こ集めた数を1800, 2300は100を23こ集めた数。 $800 + 700$ , $900 - 600$ , $1000 - 800$ 。	(1)ウ
4けたの 数⑥	1	○ 「数の線」の目盛りを読み, 4位数の数を表す。 ・ 数直線の小さい目盛り(1000を10個に分けた)を読むとともに, 4位数の数を数直線に表す。	(1)ウ
4けたの 数⑦	1	○ 1000を10こ集めた数を10000と書いて一万と読むことを知り, 10000について調べる。	(1)ウ
4けたの 数⑧	1	○ 10000までの数直線の目盛りを読んだり, 数直線上に数を表したりする。 ・ 4位数の数の大小比較をし, 不等号を使って表す。	(1)ウ
4けたの 数⑨	1	○ 4位数の数をいろいろな見方で表す。 ・ 3800について, 3000と800を合わせた数, 4000より200小さい数, 100を38こ集めた数と表す。	(1)ウ, エ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で, 身の回りのどんなところに数字が使われているかを調べる。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で, 4位数の数の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で, 数のしくみに注目し, 十進位取り記数法を考える。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 66	6	1	73	2

大単元(題材名)	14. 長いものの長さのたんい		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	C 測定		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長さの単位mを知り, 1m = 100cmの関係がわかる。</li> <li>○ 1mのものさしの目盛りを読むことができる。</li> <li>○ m, cmで表された長さの単位換算ができる。</li> <li>○ 長さを予想して測り, 適切な単位で表すことができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1mの長さを予想して測り, 1mの感覚をつかむことができる。</li> <li>○ 目的に応じた単位を適切に選択したり, 単位の関係を説明したりすることができる。</li> <li>○ 加減計算を使って, 長さの適用問題を解くことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身の回りから1mくらいのもを探することで, 1mの感覚をつかもうとする。</li> <li>○ 長い長さをmとcmの複名数で表そうとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長さの単位mを知り, 1m = 100cmの関係を理解している。</li> <li>○ 1mのものさしの目盛りを読んでいる。</li> <li>○ m, cmで表された長さの単位換算をしている。</li> <li>○ 長さを予想して測り, 適切な単位で表している。</li> </ul>	C(1)ア(ア)(イ) C(1)ア(ア)(イ) C(1)ア(ア)(イ) C(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1mの長さを予想して測り, 1mの量感をつかんでいる。</li> <li>○ 身の回りの長さを, 目的に応じた単位を適切に選択している。</li> <li>○ 加減計算を使って, 長さの適用問題を解いている。</li> </ul>	C(1)イ(ア) C(1)イ(ア) C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1mの感覚をもとに, 身の回りから1mくらいのもを探している。</li> <li>○ 長い長さをmとcmの複名数で表している。</li> </ul>	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	どちらがながい
2年	長さのたんい

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
長いものの長さのたんい①	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長さの単位mを知り, 1m = 100cmの関係を理解する。</li> <li>・ 1mのものさしの目盛りを読む。</li> </ul>	(1)ア, イ
長いものの長さのたんい②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ m, cmで表された長さについて, 単位を変えて表す。</li> <li>・ 掲示板の横の長さを〇m〇cmと, 〇cmの両方で表す。</li> </ul>	(1)ア, イ
長いものの長さのたんい③	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1mの長さを予想して測り, 1mの感覚をつかむ。</li> </ul>	(1)ア
まとめ①	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いかしてみよう」で, テープのものさしをつかって, 長いものの長さを測る。</li> </ul>	(1)ア
まとめ②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たしかめてみよう」で, 長いものの長さのたんいの基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。</li> <li>○ 「つないでいこう算数の目」で, 単位に注目し, 長さの表し方を考え, 長さの単位の練習をする。</li> </ul>	

2023	年度						
算数	2	教科書	上下 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 74 ~ 81	5	2 ~ 2		

大単元(題材名)	15. たし算とひき算	
中単元(曲名)		
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題場面の構造をテープ図に表すと、数量の関係が簡潔に捉えられ、演算決定がしやすくなるなどのよさがわかる。</li> <li>○ 数量の関係を表したテープ図を見て、加法と減法の相互関係を理解することができる。</li> <li>○</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 逆思考の問題をテープ図に表して、筋道立てて解決することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題場面の構造をテープ図に表し、数量の関係を捉え、問題を解決しようとしたり、今後の学習に生かそうとしたりする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 問題場面の構造をテープ図に表すしかたを理解している。	A(2)ア(エ)
	○ 減法逆の加法の場面をテープ図に表している。	A(2)ア(エ)
	○ 減法逆の減法の場面をテープ図に表している。	A(2)ア(エ)
思・判・表	○ 加法の逆思考の場面のテープ図から、なぜ減法で求めるのかを説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 減法逆の加法の場面のテープ図から立式し答えを求めるとともに、その理由を説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 減法逆の減法の場面のテープ図から立式し答えを求めるとともに、その理由を説明している。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 問題場面の構造を進んでテープ図に表し、数量の関係を捉え、問題を解決している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 たしざんとひきざん
2	年 たし算とひき算のひっ算

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
たし算とひき算①	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テープ図の表し方を知り、場面をテープ図から捉え、加法逆の減法の問題に答える。</li> </ul>	(1)イ
たし算とひき算②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みかんが15こあります。どこか買ってきたので、全部で32こになりました。買ってきのみか</li> <li>○ 減法逆の加法の場面をテープ図から捉え、式を書き、加法で求めることがわかる。</li> <li>・ ジュースが何本かあります。26本くばったので、残りが8本になりました。ジュースははじめに何本ありましたか。</li> </ul>	(1)イ
たし算とひき算③	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加法の逆思考の場面をテープ図に表して、テープ図から式を書き、減法で求めることがわかる。</li> <li>・ 教室に何人がいます。後から8人来たので、みんなで23人になりました。はじめにいたのは何人ですか。</li> </ul>	(1)イ
たし算とひき算④	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 減法逆の減法の問題づくりで、つくった場面の話の通りに図に表し、式を考える。</li> <li>・ リボンが12mあります。何mが使って、まだ( )m残っています。使ったリボンは何mですか。</li> </ul>	(1)イ
まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たしかめよう」で、図を使って考えようの基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。</li> <li>○ 「つないでいこう算数の目」で、場面に注目し、全体と部分を考えて、求め方を説明する。</li> </ul>	

2023	年度						
算数	2	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 82	5	2	~	2

大単元(題材名)	16. 分数		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 分数の用語とその意味がわかる。 <input type="checkbox"/> $1/2$ , $1/3$ , $1/4$ などの簡単な分数について知り、等分した大きさを分数を用いて表すことができる。 <input type="checkbox"/> 倍と分数との関係がわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> もとの大きさを2等分した1つ分の大きさを $1/2$ , 3等分した1つ分の大きさを $1/3$ , 4等分した1つ分の大きさを $1/4$ ということの説明ができる。 <input type="checkbox"/> 倍と分数を関連付けて捉える。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 具体物を等分してできる部分の大きさの表し方に興味・関心をもち、進んで調べようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> もとの大きさを2等分した1つ分の大きさをもとの大きさの二分の一といい、 $1/2$ と書くことを理解している。	A(1)ア(カ)
	<input type="checkbox"/> もとの大きさを4等分した1つ分の大きさをもとの大きさの四分の一といい、 $1/4$ と書くことを理解している。	A(1)ア(カ)
	<input type="checkbox"/> $1/2$ , $1/4$ のような数を、分数ということを理解している。	A(1)ア(カ)
	<input type="checkbox"/> もとの大きさを8等分した1つ分の大きさをもとの大きさの八分の一といい、 $1/8$ と書くことを理解している。	A(1)ア(カ)
	<input type="checkbox"/> もとの大きさを3等分した1つ分の大きさをもとの大きさの三分の一といい、 $1/3$ と書くことを理解している。	A(1)ア(カ)
	<input type="checkbox"/> 2倍と $1/2$ , 4倍と $1/4$ などの関係を理解している。	A(1)ア(カ)
思・判・表	<input type="checkbox"/> もとの大きさの $1/2$ かどうかの説明をしている。	
	<input type="checkbox"/> もとの大きさの $1/4$ , $1/8$ かどうかの説明をしている。	
	<input type="checkbox"/> もとの大きさの $1/3$ かどうかの説明をしている。	
	<input type="checkbox"/> 2倍と $1/2$ , 4倍と $1/4$ などの関係を説明している。	
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 具体物を等分してできる部分の大きさの表し方に興味・関心をもち、折り紙を折って $1/2$ , $1/4$ , $1/8$ の大きさをついている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.分数①	1	<input type="checkbox"/> $1/2$ の意味や表し方、読み方を知る。 ・ 正方形や長方形の紙を折って切り、もとの大きさの $1/2$ をつくる。	(1)ア, イ, エ
1.分数②	1	<input type="checkbox"/> 分数の用語と意味を知り、もとの大きさの $1/4$ , $1/8$ の大きさがわかる。 ・ 正方形や長方形の紙を折って、もとの大きさの $1/4$ をつくる。テープを同じ長さに8つに分けた1つ分を $1/8$ と知る。	(1)ア, イ
1.分数③	1	<input type="checkbox"/> もとの大きさの $1/3$ の大きさがわかる。 ・ テープを同じ長さに3つに分けた1つ分の大きさを調べ、分数を使って表す。	(1)ア, イ
2.ばいと 分数	1	<input type="checkbox"/> 倍と分数との関係を捉える。 ・ テープの長さを比べ、2倍と $1/2$ , 4倍と $1/4$ などの関係を知る。 ・ 倍や分数でテープの長さの関係を表す。	(1)ア, イ
まとめ	1	<input type="checkbox"/> 「つないでいこう算数の目」で、分けたものの大きさに注目し、分数の表し方を考える。	

2023	年度						
算数	2	教科書	上 教科書ページ	配当時数	配当月		
		東書	下 92	5	2	97	3

大単元(題材名)	17. はこの形		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直方体や立方体を構成する面，辺，頂点の構成要素について知り，立体図形の初歩的な概念を理解することができる。</li> <li>○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせて立体を構成することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直方体や立方体を構成する面，辺，頂点などの構成要素の特徴を調べることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直方体や立方体に興味・関心をもち，進んでその特徴を調べようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 面の用語とその意味を理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 直方体や立方体の面を写し取り，面の形や数，同じ大きさの面がいくつずつあるかを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせて立体をつくっている。	B(1)ア(ウ)
	○ 直方体や立方体を構成することを通して，面と面の基礎的な位置関係を理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ ひごと粘土玉で直方体をつくり，辺の長さや数，頂点の数を理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 立方体の辺の長さや数，頂点の数を理解している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 直方体や立方体の面を写し取り，面の形や数，同じ大きさの面がいくつずつあるかを調べている。	B(1)イ(ア)
	○ ひごと粘土玉で直方体をつくり，辺の長さや数，頂点の数を調べている。	B(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 直方体や立方体の6つの面を写し取って切り取り，つなぎ合わせることを通して，自ら立体の構成や特徴を調べている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1年	かたちづくり

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
はこの形①	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 面の用語がわかり，直方体や立方体の面を写し取り，面の形や数を調べ，面の特徴を理解する。</li> <li>・ 身の回りから，箱の形をしたものを探す。</li> <li>・ はこの形には面が6つあり，ぴったり重なる面は2つずつ3組あることや，さいころの形には面が6つあり，どれもぴったり重なることを知る。</li> </ul>	(1)ア，イ，エ
はこの形②	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 切り取った面を，面と面の位置関係を考えて，テープでつなぎ合わせて直方体や立方体をつくる。</li> </ul>	(1)ア，イ，エ
はこの形③	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひごと粘土玉を使って直方体をつくり，辺や頂点の数を調べる。</li> <li>・ はこの形には辺が12本，頂点が8つある。</li> </ul>	(1)ア，イ
まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つないでいこう算数の目」で，面，辺，頂点に注目し，箱の形を調べる。</li> </ul>	